

令和4年 第1回定例会

一般質問文書表

稲城市議会

通告番号	氏名	質問項目 (18人、57項目)	備考
1	つ の じ 寛 美	1 坂浜地域の安全対策について 2 学校開放事業の更なる取り組みについて 3 母子手帳アプリ梨の子いなぎの更なる取り組みについて 4 高校3年生までの医療費無償化について	
2	北 浜 けんいち	1 18歳成人について 2 市有建築物の長寿命化施策について	
3	川 村 あ や	1 市内各所における防犯カメラの設置について 2 市内農家および新規就農者への支援について 3 だれもが楽しめる公園づくりについて(インクルーシブ遊具)	
4	山 岸 太 一	1 働く人の処遇改善と人員増による介護の質の向上について 2 地域に暮らす住民と猫が共生できるまちづくりの支援について 3 子どもたちが安心して通学することができる通学路の安全確保について 4 誰もが安心して住むことのできる南山地域のまちづくりについて 5 平尾近隣公園の転倒防止対策による安全な公園整備について	
5	市 瀬 ひ さ 子	1 ヤングケアラーへの支援体制の更なる強化について 2 向陽台地区の安全対策について 3 カーボンニュートラルの実現に向けた市の取り組みについて	
6	梶 浦 み さ こ	1 関東大震災(1923年)から100年目に向けた取り組みについて 2 稲城市立図書館の雑誌等の付録の活用と図書館利用促進について 3 市内で循環！使用可能な家具や家電など家庭の不要物・粗大ごみのリユース促進と官民連携について	
7	角 田 政 信	1 榎戸土地区画整理事業の「まちづくり」について 2 大阪市北区で発生した建物火災について 3 ふるさと納税について	
8	岩 佐 ゆ き ひ ろ	1 学校体育施設の公共施設予約システムについて 2 向陽台、長峰地区の不審者、わいせつ事件について 3 新型コロナウイルスの「オミクロン株」急拡大の影響による学級閉鎖について	
9	村 上 洋 子	1 0歳から就学相談までの、未就学期の切れ目ない発達相談と支援について 2 小さな子どもと一緒にグループ利用のできる公共の場所の確保について 3 「ゲノム編集高ギャバ(GABA)トマト苗の無償配布」を市内小・中学校で受けないことについて	
10	坂 田 た け ふ み	1 送迎保育ステーションの実施について 2 百村地区のまちづくりについて	
11	い そ む ら あ き こ	1 里帰りしなくても安心して出産できるまちへ 2 ファミリー・サポート・センターをもっと安心して使いやすくするための工夫を 3 子どもたちの遊びの重要性とプレーパークについて 4 小中学校でのタブレット端末の活用について	

12	佐藤 しんじ	<ul style="list-style-type: none"> 1 特別支援教育とインクルーシブ教育について 2 南山小学校に学校林を作ることについて 3 防犯カメラの普及について 	
13	岡田 まなぶ	<ul style="list-style-type: none"> 1 市民の生命とくらしを守る新型コロナ対策について 2 災害への備えについてー東日本大震災から11年 3 子どもの医療費無料化の18歳までの拡充について 4 認可保育園の待機児童解消について 5 中央公園、野球場周辺の防犯カメラ設置について 	
14	武田 まさひと	<ul style="list-style-type: none"> 1 多摩テレビが提供するWi-Fiの導入について 2 頑張れ！稲城の事業者応援ブック作成委託事業について 	
15	中 田 中	<ul style="list-style-type: none"> 1 稲城市の令和3年度の組織改正について 2 シビックプライドの醸成に関する取り組みについて 3 避難行動要支援者登録名簿の取り扱いについて 	
16	田島 きく子	<ul style="list-style-type: none"> 1 気候変動・脱炭素化の対策について 2 食品廃棄物(主に生ごみ・調理残渣)の処理について 3 稲城長沼駅周辺の整備について 4 生理の貧困について 	
17	榎本 久春	<ul style="list-style-type: none"> 1 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う高齢者施設での入所者や職員への対応について 2 緑の保全と創出に重要な役割を果たす小田良谷戸公園と清水谷戸緑地について 	
18	鈴木 誠	<ul style="list-style-type: none"> 1 防災に関する稲城市の取り組みについて 2 コロナ禍における学校運営について 3 市内文化財、伝統行事等の保護・活用について 	

通告番号	会 派 名	氏 名
1	公 明 党	つ の じ 寛 美

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>坂浜地域の安全対策について</p> <p>三沢川沿いや三沢川分水路周辺やゆう芳の里前の道路など全体的に、道幅が狭く車がすれ違うのに困難な道路です。通学路になっており子どもたちや、犬の散歩をしている方々も通行しています。街道の抜け道に使われていることもあり、車やバイクなどがスピードを上げて通行するので危険と感じると地域住民からご意見を多くいただきます。これまで市内では、交通安全対策として有効なゾーン30が3区域で指定されており、その成果についても私自身も感じているところでございます。</p> <p>(1)この地域の交通安全対策について伺う。</p> <p>(2)ゾーン30を推進するための取り組みについて伺う。</p>	
2	<p>学校開放事業の更なる取り組みについて</p> <p>令和4年1月から公共施設予約システムの運用が開始となり、利用手続きの利便性向上が図られたことを評価致します。そうした中、利用にあたっての条件を設けている学校もあることから利用できないことが起こっています。</p> <p>(1)現状について伺う。</p> <p>(2)課題と今後の取り組みについて伺う。</p>	
3	<p>母子手帳アプリ梨の子いなぎの更なる取り組みについて</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	<p>新型コロナの経験を踏まえて柔軟で強靱な子育て支援環境の構築が急務です。子育て中の家庭は様々な不安を抱えています。感染拡大当初は、休園・休校が実施されており、子どもの精神的なストレス・運動不足・勉強の遅れや仕事を休んで子どもをみることや、経済的な負担なども悩みとなりました。地域交流が希薄化し、自分の子どもが健やかに成長しているのか、子どもの健康や将来に対する悩みも増えています。コロナ禍では、様々な分野でのデジタル化が加速しました。そこで、母子手帳アプリ梨の子いなぎの活用は、子育て支援に効果があると認識しています。</p>	
	(1)利用状況について伺う。	
	(2)妊娠中の取り組みについて伺う。	
	(3)今後の取り組みについて伺う。	
4	<p>高校3年生までの医療費無償化について 東京都は28日、中学3年生までとしている医療費助成の対象を高校3年生まで拡充する方針を発表した。2023年度の開始を目指す。22年度予算案には、7億円を計上して、市区町村のシステムの改修を補助する。都議会公明党が今年の東京都議選で掲げた重点政策の一つが動き出しました。</p>	
	(1)中学3年生の稲城市の状況について伺う。	
	(2)中学3年生の今後の取り組みについて伺う。	
	(3)高校3年生の今後の取り組みについて伺う。	

通告番号	会派名	氏名
2	新政会	北浜けんいち

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	18 歳成人について	
	<p>明治9年以来、140年間、成年年齢は20歳と民法で定められてきました。成年年齢を、18歳に引き下げることとする「民法の一部を改正する法律」が、本年4月1日から施行されます。</p> <p>そこで、成年年齢引き下げによる変更点等について見解を伺います。</p>	
	(1) 現在未成年者の新成人となる日について	
	(2) 成年年齢の引き下げによる変更点について	
	(3) 酒・たばこ・公営競技の年齢制限について	
	(4) 契約に関する変更点と注意点について	
	(5) 小中学校における消費者教育について	
	(6) 婚姻年齢について	
	①女性の婚姻年齢について	
	②婚姻の父母の同意について	

項目 番号		摘要
2	市有建築物の長寿命化施策に	
	ついて	
	<p>本年、稲城市は市制施行 50 周年を迎えました。</p>	
	<p>この間、計画的に都市基盤整備を進めると共に、</p>	
	<p>市民の多様なニーズに応えるために、様々な施設</p>	
	<p>を整備してまいりました。新たな 50 年に向けて</p>	
	<p>それぞれの施設の長寿命化が、重要な施策である</p>	
	<p>と考えます。</p>	
	<p>そこで、市有建築物の長寿命化について、市の</p>	
	<p>見解を伺います。</p>	
	<p>(1) 稲城市市有建築物維持・保全計画について</p>	
	<p>(2) 稲城市公共施設等総合管理計画市有建築物</p>	
	<p>アクションプラン(個別施設計画)につい</p>	
	<p>て</p>	
	<p>(3) 今後の市有建築物の長寿命化について</p>	

通告番号	会派名	氏名
3	新政会	川村 あや

項目番号	質問要旨	摘要
1	<p>市内各所における防犯カメラの設置について</p> <p>近年、わいせつ事件や不審者情報等が増えている事から、防犯対策の必要性や犯罪抑止効果の観点からも全国的に防犯カメラの設置が増えています。市内でも同様の懸念があることから犯罪抑止や安心・安全な街づくりの観点から伺います。</p> <p>(1)近年の不審者情報について</p> <p>(2)市内の防犯カメラ設置状況について</p> <p>(3)稲城中央公園野球場および周辺への防犯カメラ設置について</p>	

項目 番号	質問要旨	摘要
2	<p>市内農家および新規就農者への支援について</p> <p>市内農家の担い手の確保と支援については、度々、質問させていただいています。近いところでは、令和3年第3回定例会において援農ボランティアや東京都指導農業士制度について前向きな答弁をいただきました。現在、稲城市では縮小・減少傾向ではありますが、まだまだ多くの農家があり農作物の生産に尽力されています。</p> <p>そのような方たちを守ることと同時に、新規就農者へのサポート体制への取り組みも必要と考えることから質問させていただきます。</p> <p>(1)市内農家の軒数および生産品について</p> <p>(2)市内農家への補助金について</p> <p>(3)新規就農者への支援について</p>	

項目 番号	質問要旨	摘要
3	<p>だれもが楽しめる公園づくりについて (インクルーシブ遊具)</p> <p>令和3年第1回定例会において、だれもが楽しめる公園づくりについて(インクルーシブ遊具)を質問をさせていただきました。</p> <p>1年が経過し各所に公園遊具が新設される中、実際に遊具で遊んでいる子どもたちや親御さんからも良い反響をいただいています。</p> <p>現在も工事が行われている事から、現状および今後の予定や市の考え方を確認させていただきます。</p> <p>(1)新設された遊具等について</p> <p>(2)今後、予定されている遊具等について</p>	

通告番号	会 派 名	氏 名
4	日本共産党	山岸太一

項 目 番 号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>働く人の処遇改善と人員増による介護の質の向上について</p> <p>介護施設で働く人の人材不足を理由に、介護施設等での人員配置基準の緩和が国で検討されています。人員削減ではなく、働く人の処遇を改善し人員増を求める立場から質問します。</p> <p>(1) 介護施設の人員配置基準の改悪について</p> <p>①内閣府規制改革推進会議「第7回 医療・介護ワーキング・グループ」において、介護施設等の人員配置基準についてどのような議論がされたのか聞きます。</p> <p>②介護施設の人員配置基準の緩和は介護の質の低下や職員の負担増をもたらすものであり、行うべきではないと考えるが認識を聞きます。</p>	
2	<p>地域に暮らす住民と猫が共生できるまちづくりの支援について</p> <p>これまでも地域猫活動の支援と、人にも猫にも優しいまちづくりを求めてきました。ボランティア、行政、地域住民が協力しあいながら、人と猫が共生できるまちづくりのさらなる推進を求める立場から質問します。</p> <p>(1) まちづくりとしての地域猫活動とその支援について</p> <p>①TNR活動の定義について聞きます。</p> <p>②TNR活動への市としての支援内容について聞きます。</p> <p>(2) 「適切な餌やり活動」の推進と啓発について</p> <p>①猫の餌やり活動として「不適切な餌やり」の内容について聞きます。</p> <p>②猫の餌やり場所に掲示している看板の内容とその位置づけについて聞きます。</p> <p>③適切な餌やり活動を広げていくための地域のボランティア団体との協力連携体制について聞きます。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
3	<p>④適切な餌やり活動を広げていくための広報啓発活動について聞きます。</p> <p>子どもたちが安心して通学することができる通学路の安全確保について 通学路の安全確保については、市議会でもたびたび取り上げられてきました。改めて市としての取り組み状況を確認し、子どもたちが安心して歩くことができる通学路にしていくことを求める立場から質問します。</p> <p>(1) 通学路の点検状況について ①令和3年7月9日付文科省依頼「通学路における合同点検の実施について」の内容について聞きます。</p> <p>②点検によって判明した市内の通学路の状況について聞きます。</p> <p>(2) 安全な通学路の確保について ①これまでの通学路の安全対策について認識を聞きます。</p> <p>②今後の通学路の安全対策について認識を聞きます。</p>	
4	<p>誰もが安心して住むことのできる南山地域のまちづくりについて 南山区画整理の新たな変更案が明らかになっています。佳境を迎えた南山計画について、すでに住んでいる人もこれから住む人も安心して暮らしていくことのできるまちづくりを求める立場から質問します。</p> <p>(1) 南山東部土地区画整理事業計画の第8回目の変更内容について ①事業名称の変更内容とその理由について聞きます。</p> <p>②事業規模、総事業費、施行期間の変更内容とその理由について聞きます。</p> <p>(2) これからの南山地域のまちづくりについて ①南山地域での住宅戸数増加にともない、子育て支援、教育、介護等の今後の福祉インフラへ与える影響について認識を聞きます。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
5	<p>②路線バスを含む今後の公共交通整備について聞きます。</p> <p>平尾近隣公園の転倒防止対策による安全な公園整備について 平尾近隣公園のタイルで滑って転倒し、大けがを負ったという声が市民から寄せられています。市としてのこれまでの対策を確認し、安全な公園にしていくことを求める立場から質問します。</p> <p>(1) 直近3年間の平尾近隣公園での転倒による事故の発生状況について聞きます。</p> <p>(2) 同公園での転倒防止の対策状況について聞きます。</p>	

通告番号	会 派 名	氏 名
5	公 明 党	市瀬 ひさ子

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>ヤングケアラーへの支援体制の更なる強化について</p> <p>ヤングケアラーは、家族でケアを要する人がいる場合に大人に代わり、家事や家族の世話を担う18歳未満の子どもや若者を指します。しかし家庭内のデリケートな問題であること等から表面化しにくいいため、実態把握が難しいとされています。厚生労働省と文部科学省の省庁を超えた連携の必要性が指摘される中、公明党の山本博司参議院議員は、当時の厚労副大臣として、両省庁の関係部局と調整に動き、両大臣の了解を得て、昨年3月初の合同プロジェクトチームを設置。全国初のヤングケアラーの実態調査の公表を含め、今後取り組むべき国の支援策としての報告を取りまとめました。その後「骨太の方針」にもヤングケアラー支援が明記され、①早期発見・把握②支援策の推進③社会的認知度向上の3本柱となる支援策として2022年度予算案に組み込まれました。本市においても子ども家庭支援センターを中心に、学校現場との連携による支援が進められています。寄り添う支援の更なる拡充の重要性から以下の質問を致します。</p> <p>(1)実態把握について</p> <p>①学校現場での実態把握について伺います。</p> <p>②子ども家庭支援センターでの実態把握について伺います。</p> <p>(2)現状の支援体制について</p> <p>①学校現場における支援体制について伺います。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	②子ども家庭支援センターにおける支援体制について伺います。	
	(3) 課題について	
	①学校現場における課題について伺います。	
	②子ども家庭支援センターにおける課題について伺います。	
	(4) 今後の取り組みについて	
	①学校現場における今後の取り組みについて伺います。	
	②子ども家庭支援センターにおける今後の取り組みについて伺います。	
2	向陽台地区の安全対策について	
	向陽台の街びらきから34年が経過し、まちの成熟が進む中、まち並みの経年劣化や人口構成の変化等により、向陽台地区における市民の安全を重視する対策が重要であると考えます。	
	(1) 向陽台公園通り及び丘の上通りの交通安全対策について	
	①スピード超過車両の対策について	
	②信号のない横断歩道への対応について	
	(2) 向陽台公園通りには街びらき当初から歩道に重厚なベンチが設置されています。しかし老朽化に伴い座りにくく、安全性を心配するお声も頂きます。そこでベンチの配置や交換等、計画的に見直していくことも必要ではないかと考えます。市の見解を伺います。	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
3	<p>カーボンニュートラルの実現に向けた市の取り組みについて</p> <p>2020年10月、政府は2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、カーボンニュートラルを目指すことを宣言しました。脱炭素社会の実現に向け、公明党は2020年1月の衆参代表質問で、「50年を視野に温室効果ガスの排出実質ゼロ」といち早く提言、後押しし、先の宣言が実現。その後2021年5月には「50年温室効果ガスの排出実質ゼロ」を明記した改正地球温暖化対策推進法が成立しました。本市においても脱炭素社会の実現に向け、様々な取り組みが進められています。しかしSDGsの目標達成のゴールは2030年であり、将来の世代も安心して暮らせる、持続可能な経済社会を目指す必要性から、カーボンニュートラル、そして脱炭素社会の実現に向けた市民一人一人の意識啓発やライフスタイルの転換は重要であると考えます。</p> <p>(1)本年4月、「食・住・衣・循環・移動」の分野において、環境に配慮した消費行動にポイントを付与する「グリーンライフ・ポイント」が導入されます。この制度の推進により、国民のライフスタイルの転換を促すとともに、温室効果ガスの削減や需要を喚起する効果も期待できることから、市民への周知、市民や市内事業者の意識啓発が重要であると考えます。</p> <p>①市の認識について伺います。</p> <p>②世田谷区や板橋区では、区民や事業者が電気やガスの使用量を抑える省エネ行動を実践することで、区内のエネルギー使用量を抑え、温室効果</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	<p>ガス排出量の抑制につながる「アクションポイント事業」が行われています。この様に、住民と行政が一体となって省エネに取り組むことは重要であると考えます。稲城市においても同様に市民や事業者の皆さまと取り組む新たな事業を展開していくことも必要ではないかと考えます。市の見解を伺います。</p>	
	<p>(2)日本の温室効果ガス排出量の約6割が衣食住や移動に伴うエネルギー消費などの家庭関連が占めています。中でも毎日の暮らしに直結する食に関する取り組みは誰もが実践可能であると考えます。公明党は食品ロス削減推進プロジェクトチームを2015年に設置、竹谷とし子参議院議員を座長に一貫して食品ロス削減を推進してまいりました。令和元年の国の推計では、日本全体で約570万tの食品ロスが発生しているとのことです。食品ロスに対する市の認識や取り組みについて伺います。</p>	
	<p>①食品ロスが環境に及ぼす影響について、市の認識を伺います。</p>	
	<p>②市が行って来た取り組みについて伺います。</p>	
	<p>③今後の市の取り組みについて伺います。</p>	
	<p>(3)カーボンニュートラルの実現には、市民や事業者の皆さまの意識啓発による協力が重要です。また市では、稲城市廃棄物減量等推進審議会における委員と稲城市廃棄物減量等推進員が活動されています。令和5年より、プラスチック廃棄物の再資源化事業が開始予定となっていることから、各地域の稲城市廃棄物減量等推進員の皆さまにご協力頂きながら、新事業の推進やごみ減量への更なる</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	挑戦に努めて頂けることに期待致します。	
	①稲城市廃棄物減量等推進員制度と活動内容につ	
	いて伺います。	
	②今後の取り組みについて伺います。	

通告番号	会 派 名	氏 名
6	新政会	梶浦みさこ

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>関東大震災(1923年)から100年目に向けた取り組みについて</p> <p>(1) 関東大震災の歴史資料について</p> <p>2023年9月1日で関東大震災から100年という節目を迎えます。関東大震災は近代化した首都圏を襲った唯一の巨大地震であり、震源域に近い稲城市でも大きな被害があったことと思います。その歴史資料について伺います。</p> <p>(2) 関東大震災の歴史資料の保存・展示等と継承について</p> <p>1923年の関東大震災はどのような被害をもたらし、稲城市の人々の生活にどのような影響があったのか、過去の災害から学ぶ節目であると考えます。関東大震災に関する歴史的に貴重な資料を保存・展示、時代にあった掲載方法にするなど、この地域で発生した事実を、世代を超えて共有・継承することが必要と考え、市の見解を伺います。</p>	
2	<p>稲城市立図書館の雑誌等の付録の活用と図書館利用促進について</p> <p>(1) 図書館の雑誌等の付録の取り扱いについて</p> <p>① 本誌を補完する情報を含む付録・付図の取り扱いについて</p> <p>図書館で所蔵している雑誌等で、本誌を補完する情報を含む冊子、CD・DVD等の付録、付図の取り扱いについて伺いま</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	す。	
	②図書館での保管に適さない小物類等の付録の取り扱いについて	
	2001年に日本雑誌協会が雑誌の形態基準や付録の材質などを定めた自主基準「雑誌作成上の留意事項」を改定したことにより、布類やプラスチック類など豪華な付録が雑誌に添付されるようになりました。	
	図書館で所蔵している雑誌等で、本誌を補完する情報を持たない付録や図書館での保管に適さない小物類等の付録の取り扱いについて伺います。	
	(2)雑誌等の付録を活用した市民の図書館利用促進について	
	新型コロナウイルス感染症により図書館の行事・イベント等は中止または縮小を余儀なくされているところです。アフターコロナの図書館において、雑誌等の付録配布イベントなど、市民の図書館利用促進として雑誌等の付録を活用することについて伺います。	
3	市内で循環！使用可能な家具や家電など家庭の不要物・粗大ごみのリユース促進と官民連携について	
	(1)粗大ごみの収集後の処理と再利用について	
	収集された粗大ごみの中には、利用可能な品物もあることと考えます。家庭からの粗大ごみ収集後の処理と再利用について市の取り組みを伺います。	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	<p>(2) 無許可業者による家庭ごみ等回収によるトラブルの注意啓発について</p> <p>家庭からのごみを回収するには市の「一般廃棄物収集運搬業許可」が必要となっています。無許可業者による不法投棄や不適正処理などの社会課題や高額な処理料金請求トラブルに対し、市民が無許可業者に家庭ごみを排出しないよう注意啓発をする取り組みについて伺います。</p>	
	<p>(3) 「ゆずります」「ゆずってください」情報交換コーナーの利用状況について</p> <p>長年、市民に利用されている市庁舎1階「ゆずります」「ゆずってください」情報交換コーナーについて、直近3か年と令和3年度の利用状況について伺います。</p>	
	<p>(4) 近隣市の家庭からの不要物や粗大ごみのリユース等の取り組みについて</p> <p>粗大ごみの修理・修繕によるリユースや、使用可能な家具・家電等の市民相互の情報交換など、町田・多摩・国立・府中・調布など近隣各市のリユースやリサイクルを促進する取り組みの状況について伺います。</p>	
	<p>(5) 福祉団体や民間事業者と連携した家庭からの不要物・粗大ごみのリユース促進について</p> <p>SDGsの目標達成に貢献できるよう、家庭からの不要物や粗大ごみの再利用を促進し、ごみ排出削減を図っていただきたいと考え、福祉団体や民間事業者と連携し、家庭からの利用可能な不要物・粗大ごみの市民相互のリユース促進を図ることについて伺います。</p>	

通告番号	会 派 名	氏 名
7	新政会	角田 政信

項目番号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>榎戸土地区画整理事業の「まちづくり」について</p> <p>(1) 榎戸地区のまちづくりについて</p> <p>榎戸地区につきましては、平成元年より事業に着手し、土地所有者をはじめ、地域の方々の事業へのご理解・ご協力をいただきながら、事業を推進してきたところです。</p> <p>ここで、事業完了に向けて、一定の見通しが立ってきたことから、地域の方々においても事業の早期完了を願っているところです。</p> <p>そこで、現在の榎戸土地区画整理事業の進捗状況について伺います。</p> <p>(2) 無電柱化の取り組みについて</p> <p>無電柱化は、都市防災の強化、安全で快適な歩行空間の確保、良好な都市景観の創出を図ることができるものであります。東京都においても、無電柱化加速化戦略を策定し、これまで以上に無電柱化を進めていくと伺っております。稲城市内においても無電柱化が進捗しています。</p> <p>榎戸土地区画整理事業地内でも既に無電柱化に取り組まれているところですが、今後の計画について伺います。</p> <p>(3) 地区内の交通安全対策について</p> <p>榎戸地区は、地区西側に第一小学校が隣接しており、多くの児童が、多 7・5・3 号宿榎戸線を横断して通学しております。事業の進捗に伴い、榎戸地区の同路線は車道部が全線開通したことから、交通量が増加傾向にあり、同路線を横断する児童を含む歩行者への安全確保が必要と思いますが、市の見解を伺います。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	<p>(4)大規模換地変更を行った地区北西部の今後の整備手法について</p> <p>榎戸地区において、令和2年度に地区北西部で大規模換地変更を行ったことは伺っておりますが、同地区において、整備を進めるにあたり、どのような手法を取り入れていく予定なのか伺います。</p>	
2	<p>大阪市北区で発生した建物火災について</p> <p>令和3年12月17日に大阪市北区で発生したビル火災では、死者26人、負傷者2人を出す被害が発生しました。</p> <p>建物の構造が、地上へ直通する階段が1つしかない建物で、階段付近の4階部分が出火し、建物内に煙や熱気が充満することで、このように多数の逃げ遅れが発生したと推測されています。</p> <p>そこで同様な地上に通ずる階段が一つしかない対象物は、市内に何棟あるのか伺います。</p>	
3	<p>ふるさと納税について</p> <p>ふるさと納税は、稲城以外に居住するも自分を育ててくれたふるさとに自分の意志で納税できる制度があってもよいのではないかと、そんな問題提起から始まり、生まれた制度です。</p> <p>返礼品の過熱などにより、平成31年に地方税法等の一部が改正され、今日にいたっております。</p> <p>(1)過去5年における寄附の推移と状況について。</p> <p>(2)現在、稲城市の返礼品について。</p> <p>(3)返礼品については、地場産品の掘り起こしを図るという観点もあるため、今後も拡充していくべきと考えます。市の見解を伺う。</p>	

通告番号	会派名	氏名
8	改革稲城の会	岩佐ゆきひろ

項目番号	質問要旨	摘要
1	<p>学校体育施設の公共施設予約システムについて</p> <p>(1) 本年令和4年2月の施設利用分(1月予約抽選)より学校体育施設の団体開放事業の利用者の利便性向上を図るため公共施設予約システムを導入致しました。市民の方への周知方法や、システム導入前に説明会等で頂きました意見を伺います。</p> <p>(2) 学校体育施設の公共施設予約システムの運用が始まり、予約システムの抽せん方法や、予約の優先順位等が複雑で理解するのが少し難しいという声がありましたが、そういった方々の対応について伺います。</p>	
2	<p>向陽台、長峰地域の不審者、わいせつ事件について</p> <p>(1) 向陽台、長峰地域では、最近、不審者やわいせつ事件がありました。近隣にお住まいの方から、不安だという声が多数寄せられております。向陽台、長峰地域の不審者、わいせつ事件の過去3年間の発生状況について伺います。</p> <p>(2) 今回、向陽台の方々から、犯罪の抑止と犯罪者の特定に役立つ、防犯カメラを中央公園野球場周辺及び、中央公園周辺3か所に出来る限り早期に設置して欲しいという要望書が提出されました。市の見解を伺います。</p>	

3

新型コロナウイルスの「オミクロン株」急拡大の影響による学級閉鎖について

(1) 新型コロナウイルスの「オミクロン株」急拡大の影響により 1 月 26 日時点で休校した公立の小中高校と幼稚園などは、全国の約 3 万 5 千校の 3.1%に当たる 1114 校に上ることが 4 日、文部科学省の緊急調査で分かりました。実際に稲城市内でも 1 月からの多くの市内保育園、幼稚園、小中学校でクラス休園や学級閉鎖がありました。市内幼稚園保育園の休園、クラス休園、また小中学校の学級閉鎖の基準について伺います。

通告番号	会派名	氏名
9	市民クラブ	村上洋子

項目番号	質問要旨	摘要
1.	0歳から就学相談までの、未就学期の切れ目ない発達相談と支援について	
	<p>未就学期の子どもの発達相談・支援については、稲城市発達支援センター「レスポーいなぎ」が担っている就学前発達相談を核として、「稲城市おやこ包括支援センター」や「稲城市子ども家庭支援センター」が行う総合的な相談・支援事業と連携しつつ、義務教育での支援について検討する教育委員会の就学相談までを切れ目なく相談者に寄り添ったかたちで進められることが非常に重要と考えます。</p> <p>子どもの発達について「ありのまま」を受け入れながら、育ちに合わせた療育や教育制度についての見通しを持つこと、仲間とつながることなど相談者に寄り添った支援の構築が必要と考え市の認識を伺います。</p>	
	<p>(1) 「おやこ包括支援センター」での発達相談の現状と課題について伺います。</p> <p>(2) 「子ども家庭支援センター」での発達相談の現状と課題について伺います。</p> <p>(3) 就学前発達相談の現状と課題について伺います。</p> <p>(4) 就学相談の現状と課題について伺います。</p> <p>(5) 保育所等訪問支援の利用の現状と課題について伺います。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	<p>(6) 親と子を同時に支える発達支援について伺います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 現状と課題について ② ピア相談や仲間づくりの支援について ③ 親自身の発達の課題に対する支援について <p>(7) 今後の市の取り組みについて伺います。</p>	
2.	<p>小さな子どもと一緒にグループ利用のできる公共の場所の確保について</p>	
	<p>稲城市においては子育て世代の人口が大きく伸び、「あそびの広場」等の事業を拡充されてきました。</p> <p>さらなる子育て支援策として、小さなお子さんと一緒にミーティングなどグループ活動に利用できる場所の確保が急務であると考え市の認識を伺います。</p>	
	<p>(1) 公民館保育室の利用拡大について伺います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 利用状況について (各保育室の過去5年間の利用率等について) ② 保育室のグループ利用の現状と課題について <p>(2) 市内の保育園等が地域の子育てグループにスペースを貸し出しできるかについて伺います。</p> <p>(3) 子どもと一緒にグループ利用しやすいスペースの整備を、市の計画の中にどのように位置付けていくのかについて伺います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 「第四次稲城市保健福祉総合計画」での検討について ② 「第四次稲城市生涯学習推進計画」での検討について 	

項目 番号	質問要旨	摘要
3.	<p>「ゲノム編集高ギャバ(GABA)トマト苗の無償配布」を市内小・中学校で受けないことについて</p>	
	<p>血圧を下げる効果があるとされる「ゲノム編集高ギャバ(GABA)トマト」について、開発企業サナテックシード社と販売会社であるパイオニアエコサイエンス株式会社は、2022年からは福祉施設に、2023年からは小学校に苗を無償提供する計画を発表しています。</p> <p>子どもたちが血圧を下げる必要性はありません。</p> <p>栽培されたトマトを口にする可能性もあることを考えるとアレルギーなど体への影響、自然界では起きないオフターゲット(標的以外への遺伝子への影響)、生態系への影響など、未検証の重大な課題があり、長期的な未然防止の視点、消費者の知る権利という点からも、ゲノム編集作物・食品が拡散していく事態は避けるべきと考え市の認識を伺います。</p>	
	<p>(1) 市内小・中学校での「ゲノム編集高ギャバ(GABA)トマト苗」栽培の取り扱いについて市の認識を伺います。</p> <p>(2) 「生物多様性いなぎ戦略」など市の計画の中での「遺伝子操作植物」に対する対応の検討について伺います。</p>	

通告番号	会 派 名	氏 名
10	新 政 会	坂田 たけふみ

項目 番号	質 問 要 旨	摘 用
1	送迎保育ステーションの実施について	
	市では、平成29年11月16日の福祉文教委員会において、	
	今後の保育所の整備方針を打ち出し、認可保育園及び認定こども	
	園等の建設に取り組み、令和3年4月1日時点での待機児童解消	
	を実現しましたが、歳児によっては空き定員がある保育園もあると	
	伺っています。	
	これまで会派では、一般質問、代表質問等で待機児童対策と空き	
	定員、定員割れのミスマッチ解決の有効な取り組みの一つとして	
	「送迎保育ステーション」の取り組みについて提案して参りました。	
	この提案に対し、平成27年2月13日の福祉文教委員会におい	
	て、「稲城市送迎保育ステーションについての検討経過報告」で検	
	討方針として「今後、稲城市の待機児童の状況を見据えて、来年度	
	以降、民間事業者とも意見交換を行いながら実施について研究を	
	行っていく。」と報告がありました。	
	そこで、これまでの取り組み状況等について伺います。	
	(1)平成27年2月以降どのように研究を行ってきたのか伺います。	
	(2)保育園の新設等で、待機児童解消に取り組んできた本市で	
	実際に導入する場合についての考え方について伺います。	
	(3)今後の市の方針について伺います。	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 用
2	百村地区のまちづくりについて	
	百村地区には、南多摩尾根幹線と鶴川街道の2つの主要幹線道路が通っています。これらの道路整備は、今後の百村地区のまちづくりにおいて、欠かせない重要なポイントであると認識しています。	
	これまでも様々な機会をとらえて質問をして参りましたが、改めて、南多摩尾根幹線と鶴川街道百村区間の整備に向けた市の取り組みについて伺います。	
	(1)周辺都市との広域交流、市民生活・活動を支える上で重要な広域幹線道路である南多摩尾根幹線につきましては、令和3年第2回本会議でも質問させていただき、令和3年度中に事業認可を取得する予定であると伺っておりますが、その後の道路整備に向けた取り組み状況について伺います。	
	(2)誰もが安全で安心して暮らせ、活力にあふれる百村地区のまちづくりの実現に向け、東京都が施行する鶴川街道百村区間の整備進捗状況と市が施行する鶴川街道沿道の取り組み状況について伺います。	

通告番号	会 派 名	氏 名
11	市民クラブ	いそむら あきこ

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>里帰りしなくても安心して出産できるまちへ</p> <p>2020 年秋に、全国の乳幼児をもつ母親約 2,000 人を対象に、民間企業が実施した「生活・意識調査」によると、里帰り出産をした人は全体の 56.8%で、新型コロナウイルスの影響で減少しました。里帰り出産をしなかった理由としては、「実家が近いので必要ない」が 30.7%と最も多く、次に、「配偶者・パートナーと離れるのを避けたかった」が 25.3%、「親が忙しい・仕事がある・高齢である」が 10.3%、「親との関係性の問題でできない・したくない」が 10.1%という結果でした。</p> <p>実家や親族を頼ることができない、里帰りが難しい家庭など、特に二人目以降の出産時の上の子の預け先など、周囲のサポートが必要であると考えます。そこで、子どもの預かり支援について伺います。</p> <p>(1) 実家や親族を頼ることができない、里帰りが難しい家庭などでは、二人目以降の出産の際に上の子の預け先に困ることがある。そのような家庭への、本市でのサポート体制について伺う。</p> <p>(2) 子どもショートステイ事業の取組みと課題について伺う。</p> <p>(3) 養育協力家庭の取組みと課題について伺う。</p> <p>(4) トワイライトステイの実施について認識を伺う。</p> <p>(5) 稲城市立病院での出産入院時に、例えば個室などを利用する場合、上の子も一緒に宿泊ができないか考えるが認識を伺う。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
2	<p data-bbox="299 262 1240 374">ファミリー・サポート・センターをもっと安心して使いやすくするための工夫を</p> <p data-bbox="299 454 1240 730">核家族世帯が増加している中、本市においても子育て世帯が安心して子供を産み育てることができるよう、ファミリー・サポート・センター事業のさらなる拡充が必要不可欠であると考えます。そこで、ファミリー・サポート・センター事業の現状と課題、新たな取組みについて伺います。</p> <p data-bbox="299 790 1240 1451"> (1)現状の取組みと課題について伺う。 (2)もっとファミリー・サポート・センターを安心して、使いやすくするための提案 ①活動会員が児童館や子ども家庭支援センターなどの公共施設を利用して預かることについて認識を伺う。 ②ファミリー・サポート・センターは、無資格でも活動会員に登録できるが、普通救命講習や事故予防研修等、毎年工夫して講習を実施している。 このような取組みをホームページなどでPRすることも大切だと考えるが、認識を伺う。 ③宿泊を伴う預かり支援の実施について認識を伺う。 ④食事づくりや買い物、掃除などの家事支援の実施について認識を伺う。 </p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
3	<p data-bbox="299 259 1235 365">子どもたちの遊びの重要性とプレーパークについて</p> <p data-bbox="299 450 1235 629">プレーパークは、従来の公園、既製の既製ブランコ、シーソー、鉄棒などがあるような遊び場と違い、一見無秩序のように見えて、子供たちが想像力で工夫して、遊びを作り出すことの出来る遊び場です。</p> <p data-bbox="299 645 1235 869">プレーパークには、既存の遊具は一切なく、通常できない遊びができるため、子供たちの自主性や冒険心を育むことができ、本市においても、プレーパークの設置を望む声を多くいただいています。そこで、プレーパークについて認識を伺います。</p> <p data-bbox="299 936 1235 1205"> (1)子どもたちの遊びの重要性とプレーパークについて認識を伺う。 (2)これまでプレーパークについてどのような検討・研究がされているのか伺う。 (3)本市でプレーパークを整備する上での課題について伺う。 </p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
4	<p>小中学校でのタブレット端末の活用について</p> <p>新型コロナウイルス流行の第6波により、市内においても学級閉鎖となる学校が増加しています。子どもたちの学びを止めないためにもタブレット端末を活用した、オンライン授業の導入が必要不可欠であると考えます。また、不登校児童生徒への学びの保障や、保護者からの出欠連絡・おたよりのペーパーレス化などの活用も期待されます。</p> <p>そこで、小中学校でのタブレット端末の活用について伺います。</p> <p>(1)オンライン授業の実施状況について伺う。</p> <p>(2)不登校児童生徒や学級閉鎖、コロナの感染不安により学校を休んだ場合で、自宅などからオンライン授業に参加したときの出席の取り扱いについて伺う。</p> <p>(3)自宅などからオンライン授業に参加する場合、契約の通信量(5GB)では足りなくなるのではないかと思うが、Wi-Fiなどの通信環境のないご家庭への対応について伺う。</p> <p>(4)タブレット端末を活用した保護者からの出欠連絡やおたよりのペーパーレス化の導入状況について伺う。</p> <p>(5)タブレットが配付され、「さらにランドセルが重くなった」などのお声を伺っている。ランドセルの中身の総重量が重くなっているが、できるかぎり子どもたちの荷物を減らす工夫について伺う。</p>	

通告番号	会 派 名	氏 名
12	公 明 党	佐藤しんじ

項目 事項	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>特別支援教育とインクルーシブ教育について</p> <p>障害のある人ない人にかかわらず、誰もが相互に人格と個性を尊重し、人々の多様な在り方を認め合える共生社会の実現には、障害や特性への深い理解が必須です。障害のある人への理解を深めるには、障害や特性に関する知識の取得に加え、障害のある人ない人の実際の触れ合い、交流といった実践・経験も不可欠であります。そしてそうした実践・経験は、教育の場において、とりわけ重要であると考えます。それと同時に、特別な支援を必要とする生徒・児童には、適切な教育、支援が、一人も取り残すことなく、なされなければなりません。稲城市におきましては、市内全小中学校への特別支援教室の設置等、特別支援教育の充実が図られていることを高く評価いたします。教育環境の更なる発展を求め、質問させていただきます。</p> <p>(1)特別支援教育における就学支援委員会について ①特別支援教育における就学支援委員会の役割について伺います。 ②小学校入学段階における就学先決定までの流れについて伺います。 ③小学校入学段階における就学相談の総件数を過去5年間分について伺います。</p> <p>(2)インクルーシブ教育について、市の認識を伺います。</p>	

項目 事項	質 問 要 旨	摘 要
2	<p>南山小学校に学校林を作ることについて</p> <p>学校林で行う、植樹や保育作業、木工作业等の活動体験は、児童・生徒の心身ともの発育に寄与するものと考えます。また、地域住民の方からも、南山小学校に学校林を希望するお声をいただいています。そこで、南山小学校に学校林を作ることについて、市の考えを伺います。</p> <p>(1)市内小中学校における学校林の現状について伺います。</p> <p>(2)南山小学校に学校林を作ることにつきまして、市の考えを伺います。</p>	
3	<p>防犯カメラの普及について</p> <p>現在、稲城市は、稲城市安全・安心まちづくり推進協議会を中心とした各種防犯ボランティア団体などによる防犯活動を支援しています。また、防犯カメラの通学路への設置や、自治会防犯カメラ設置費補助金制度を活用した防犯カメラの設置などにより、着実にその成果が現れ、年々、刑法犯認知件数が減少しております。防犯カメラの設置は、犯罪抑止や犯人逮捕、また、防犯に対する市民の意識の向上に対して非常に有効と考えており、公明党はこれまで、一般質問や市長への要望など、様々な機会をとらえ、防犯カメラの設置を推進して参りました。そこで、稲城市の更なる安全・安心なまちづくりを進めるうえでの防犯カメラの普及について、市の考えを伺います。</p> <p>(1)街頭防犯カメラについて</p> <p>①街頭防犯カメラの活用状況について伺います。</p> <p>②街頭防犯カメラの普及について伺います。</p> <p>(2)公園内の防犯カメラについて</p> <p>①公園内の防犯カメラの設置状況について伺います。</p> <p>②公園内の防犯カメラ設置についての考え方を伺います。</p>	

通告番号	会 派 名	氏 名
13	日本共産党	岡田まなぶ

項目番号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>市民の生命とくらしを守る新型コロナ対策について</p> <p>(1) 感染者の入院、自宅療養、宿泊療養、調整中の人数(11月15日、12月15日、1月15日、2月15日)および自宅療養者の診察・診療体制は。</p> <p>(2) 12月、1月、2月の市立病院のコロナ患者の入院状況および入院を断ったケースは。</p> <p>(3) 12月、1月、2月の救急出場件数および、新型コロナウイルス感染症の陽性者と疑いのある方の救急出場件数は。</p> <p>(4) ワクチン3回目接種の早期接種の取り組み状況について</p> <p>(5) ワクチン接種の推進とともにいつでもどこでも無料でPCR検査をと求めてきた。</p> <p>①東京都の無料PCR検査の市内での実施状況について。</p> <p>②市内診療所におけるPCR検査および稲城市PCRセンターの実施状況について。</p> <p>(6) 東京都が定期的検査を拡充した。学校等での取り組み状況を問う。</p> <p>①小学校、幼稚園、保育園、学童保育の先生・保育士・職員の定期的な検査について。</p> <p>②2人以上の陽性で学級閉鎖しクラス全員のPCR検査の実施について。</p> <p>③校外学習や部活の大会の前後の参加者全員のPCR検査について。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	<p>(7) 新型コロナが長期化するもと、子どもの学びの保障と心身のケアについて</p> <p>①学級閉鎖期間中のオンライン授業など学びの保障について</p> <p>②子どもの不安などへの心身のケアについて</p> <p>(8) 新型コロナの影響で、厳しい状況の続く、市民、事業者への生活、家賃、事業継続への直接支援について。</p> <p>2. 災害への備えについてー東日本大震災から 11 年</p> <p>東日本大震災から 11 年。地震や台風、集中豪雨などの災害から市民の生命と暮らしを守る、災害への備えが求められている。内閣府は、男女共同参画の視点からの避難所運営を自治体に求めている。人権を尊重した避難所運営について問う。</p> <p>(1) 授乳室や男女別のトイレ、ユニバーサルデザインのトイレ、物干し場、更衣室、休憩スペースの設置について。</p> <p>(2) 乳幼児連れ、女性のための世帯等のエリア設定、間仕切り用パーティションの活用等、プライバシー及び安全・安心を確保する対策について。</p> <p>(3) 更衣室等の安全な場所の確保、就寝場所の巡回警備など、女性や子どもに対する暴力等を予防するための取り組みについて。</p> <p>(4) 避難所の管理責任者に男女両方を配置することについて。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
3	<p>子どもの医療費無料化の18歳までの拡充について</p> <p>2021年12月の第4回定例会をはじめ、この間、18歳（高校生）までの医療費無料化を繰り返し求めてきた。</p> <p>東京都は、2023年度から子どもの医療費助成の対象を18歳までに拡大する方針を発表した。</p> <p>18歳までの子どもの医療費無料化について問う。</p> <p>(1) 東京都の助成内容と実施スケジュールについて。 (2) 稲城市の取り組みについて。</p>	
4	<p>認可保育園の待機児童解消について</p> <p>(1) 直近の待機児童数（新基準、旧基準）と前年同月の待機児童数（新基準、旧基準）は。</p> <p>(2) 新年度の認可保育園新規受け入れ人数、新規入所申請数、第一次の不承諾人数、待機児童解消の市の基本姿勢について。</p>	
5	<p>中央公園、野球場周辺の防犯カメラ設置について</p> <p>(1) 向陽台地域の住民から、中央公園、野球場周辺に防犯カメラの設置をという声が寄せられている。防犯カメラ設置についての市の基本姿勢は。</p>	

通告番号	会 派 名	氏 名
14	市民クラブ	武田まさひと

項目番号	質 問 要 旨	摘 要
1.	<p>多摩テレビが提供する Wi-Fi の導入について</p> <p>稲城市では避難所用のインターネットインフラとして多摩テレビと協定を結び、「避難所用 Wi-Fi」の無償提供を受けることになりました。Wi-Fi については、災害時はもとより日常的にも必要性が増しています。今回の整備の概要と今後の利用について伺います。</p> <p>(1) 避難所用 Wi-Fi の運用について</p> <p>①多摩テレビと協定を結びましたが、サービスの導入の経緯と概要について伺います。</p> <p>②避難所用 Wi-Fi の接続方法と接続制限について伺います。</p> <p>③Wi-Fi の接続の維持管理について伺います。</p> <p>④市民への周知と今後の対応について伺います。</p> <p>(2) 公共施設への Wi-Fi の導入について</p> <p>①多摩テレビの災害時以外の一般サービスについて伺います。</p> <p>②公民館等の公共施設への、今後の Wi-Fi 利用の拡充について伺います。</p>	
2.	<p>頑張れ！稲城の事業者応援ブック作成委託事業について</p> <p>新規顧客の開拓やお店の魅力の発信ツールとして、コロナ禍で頑張る市内の店舗・事業所の情報ガイドブックを作成し、市内全戸に配布するとの事ですが、事業の取り組み状況について伺います。</p> <p>①今回の事業の募集方法と募集結果（コース別）について伺います。</p> <p>②今後の事業スケジュールと利用促進について伺います。</p>	

通告番号	会派名	氏名
15	起風会	中田 中

項目番号	質問要旨	摘要
1	<p>稲城市の令和3年度の組織改正について</p> <p>稲城市では令和3年度4月1日付で大幅な組織改正を行い、約1年が経過した。</p> <p>アメリカの経営学者アルフレッド・チャンドラーが残した「組織は戦略に従う」という有名な言葉がある。組織は何らかの戦略目的を達成するための手段であり、戦略なきところに組織は不要と言える。令和3年度から始まった第五次稲城市長期総合計画を始めとする稲城市の“戦略”の実現のために必要な組織改正だったと理解している。しかしながら、部署によっては非常に大きな変更を伴ったため、市民や市職員にも少なからず影響があったと考えている。</p> <p>その一方で、同じくアメリカの経営学者イゴール・アンゾフによる「戦略は組織に従う」という考え方もある。環境変化に対応した組織から新しい戦略が生まれる場合もある、ということだが、つまり「無理に変えなくても現組織で対応できたのではないか」という見方もあり得るのではないかと考える。</p> <p>そのため、なぜ組織改正が必要だったか、そしてそれがどのような効果・成果につながっているか、という点を確認する必要があると考え、質問する。</p>	
	(1) 令和3年度4月の組織改正を行った背景(なぜ以前の組織を変えなければならなかったのか)および目的(その組織で実現しようとしている“戦略”)について確認したい。	
	(2) 令和3年度4月の組織改正から約1年が経過し、新しい組織も定着してきたと考えるが、組織改正の成果について確認したい。	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	<p>(3) 令和 3 年度 4 月の組織改正で大きく変更された部署の状況やその成果について</p> <p>① ICT 推進課における業務内容や状況の変化と、その成果について確認したい。</p> <p>② 秘書広報課における業務内容や状況の変化と、その成果について確認したい。</p> <p>③ 課税課と収納課を市民部に移管したことによる変化と、その成果について確認したい。</p> <p>④ 産業文化スポーツ部としたこと、および経済課と観光課を分離したことによる変化と、その成果について確認したい。</p> <p>⑤ 都市環境整備部としたこと、および緑と環境課や生活環境課として再編したことによる変化と、その成果について確認したい。</p>	
	<p>(4) 令和 3 年度 4 月の組織改正の成果も踏まえつつ、今後の市の組織体制については、どのように考えているか、確認したい。</p>	
2	<p>シビックプライドの醸成に関する取り組みについて</p> <p>第五次稲城市長期総合計画では、都市に対する市民の誇りを指す「シビックプライド」という概念が大きくクローズアップされており、「シビックプライドを持つ市民や多様なコミュニティと行政の協働によって解決を図っていく」とある。「シビックプライド」とは、単なる「郷土愛」「まち自慢」といった愛着を示す言葉ではなく、自らが主体的に動くことで地域をよりよく変えることができるという当事者意識を伴う自負心だと言われている。</p> <p>そのため、市民に「シビックプライド」を醸成していくには、行政が制度を整えたり、機会を与えたりするだけでは不十分で、市民が主体的に動いていけるようになることが重要であると考えます。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	<p>第五次稲城市長期総合計画においても、「コミュニティの育成支援」や「市民協働の推進」に取り組んでいくとあり、既に「シビックプライド」を持っている方が対象となっているような印象も受けるが、ここ数年で稲城市に転居してきた新しい市民の方々や、在宅勤務や定年等によりいわゆる“地域デビュー”されたの方々などに対しては、「シビックプライド」を醸成していく取り組みが必要になってくると考える。</p> <p>以上の点を踏まえ、「シビックプライド」の醸成について、稲城市がどのように考え、取り組んでいくのかを確認させていただくため質問する。</p>	
	<p>(1) 第五次稲城市長期総合計画において「シビックプライド」を取り入れた経緯について確認したい。</p>	
	<p>(2) 単なる「郷土愛」「まち自慢」ではなく「シビックプライド」を取り入れた理由・意図について、市の考えを確認したい。</p>	
	<p>(3) 単なる「郷土愛」「まち自慢」ではない「シビックプライド」を醸成していくために、市としてどのように取り組んでいくのか確認したい。</p>	
3	<p>避難行動要支援者登録名簿の取り扱いについて</p>	
	<p>稲城市では災害時にいち早く避難行動要支援者の安否確認ができ、迅速な支援活動につなげるための体制づくりを行っているが、その内容について確認させていただくため質問する。</p>	
	<p>(1) 避難行動要支援者登録名簿の取り扱いについて確認したい。(名簿の管理者、平時および災害時の活用の仕方など)</p>	
	<p>(2) 災害時、避難行動要支援者登録名簿を活用して安否確認する際の課題について確認したい。</p>	

通告番号	会 派 名	氏 名
16	日本共産党	田島きく子

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>気候変動・脱炭素化の対策について</p> <p>(1)公共施設における脱炭素化対策について</p> <p>①市内の公共施設における脱炭素化のためのこれまでの対策についてききます。</p> <p>②公共施設における脱炭素化について、今後も様々な対策を取っていくことが求められると考えるが認識をききます。</p> <p>(2)稲城市として「2050年CO₂排出ゼロ」を表明すべきと考えるが認識をききます。</p>	
2	<p>食品廃棄物(主に生ごみ・調理残渣)の処理について</p> <p>(1)市内におけるこれらの食品廃棄物の活用方法及び状況についてききます。</p> <p>(2)家庭用生ごみ処理容器購入費助成」事業の今年度の利用状況についてききます。</p>	
3	<p>稲城長沼駅周辺の整備について</p> <p>(1)「稲城長沼駅周辺土地区画整理事業」の現在の進捗状況についてききます。</p> <p>(2)稲城長沼駅へバスのA・Bコースの乗り入れを求める声があるが、認識をききます。</p> <p>(3)稲城長沼駅へのタクシーの乗り入れ数増を求める声があるが、認識をききます。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
4	<p>生理の貧困について</p> <p>(1)小中学校保健室に配置されている生理用品の利用状況についてききます。</p> <p>(2)小中学校のトイレに生理用品を設置するべきと考えるが認識をききます。</p>	

通告番号	会 派 名	氏 名
17	改革稲城の会	榎本 久春

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	新型コロナウイルス感染症拡大に伴う高齢者施設での入所者や職員への対応について	
	今回の新型コロナウイルス感染症のオミクロン株は、感染力が強く子ども達への感染が拡大し、学校や保育園・幼稚園が休校・休園といった事態にもなっており、その後、家族への感染も広がっている。そのような状況の中、高齢者施設での入所者や職員への感染が相次いでいるとの報告が上がってきている。入所者が感染しても病床の逼迫で入院できないケースもあると聞いている中、重症化しやすい高齢者の感染拡大を防ぎ、命を守るための対応に危機感を高めているのではないかと考えられる。そこで、市内の高齢者入所施設での現状について伺います。	
	(1) 高齢者入所施設の感染状況について伺います。	
	(2) 高齢者入所施設の短期入所サービスの実施状況について伺います。	
	(3) 高齢者施設で複数の感染者がでた場合の東京都の対応について伺います。	

2	緑の保全と創出に重要な役割を果たす小田良谷戸公園と清水谷戸緑地について	
	<p>稲城市は、多摩丘陵の緑や市内を流れる清流など豊かな自然環境に恵まれ、市民生活に安らぎと潤いを与えてくれています。しかし市内では、民間事業者による森林を伐採してのミニ開発など、丘陵地の緑が減少してきている地域もあります。人口が増加傾向にあり、都心に近く、利便性の良い稲城市ですが、この貴重な自然環境を将来へと継承していくために、緑の保全と創出を推進していかなければならないと考えます。稲城市では、「水と緑の継承と創造」を理念とした稲城市緑の基本計画が策定されており、小田良地区については組合施行により区画整理事業が進んでいますが、自然環境を活かした「稲城ふれあいの森」や「大塚牧場」などが確保され、一定の緑地が保全されてきております。そこで、東京都では都市計画公園と緑地等による緑の創出を目指し、2020年7月に新たに施策の方針を改定しております。今後も緑豊かな住みよい街としての街づくりを願うことから、緑の保全と創出について伺います。</p>	
	(1) 緑確保の総合的な方針の概要について伺います。	
	(2) 都市計画公園・緑地の整備方針について伺います。	
	①方針の概要について伺います。	
	②市内における優先整備区域について伺います。	
	③小田良谷戸公園の進捗状況について伺います。	
	④清水谷戸緑地の緑の保全について市の認識を伺います。	

通告番号	会派名	氏名
18	起風会	鈴木 誠

項目番号	質問要旨	摘要
1	<p><u>防災に関する稲城市の取り組みについて</u></p> <p>令和2年第4回定例会でもコロナ禍における避難所運営について一般質問させていただいたが、</p> <p>(1) 避難拠点設営について</p> <p>稲城市国民保護計画や避難所運営マニュアルでは初動について詳しく掲載されているが、</p> <p>①共助が基本であるが、避難拠点初動要員は誰をどのように任命するものであるか改めて伺う。</p> <p>②コロナ禍における初動、設営について、どのように周知がなされているか伺う。</p> <p>(2) 消毒用アルコールの危険性について</p> <p>新型コロナウイルスに効果的な消毒用アルコールの濃度は70%以上といわれるがこれは消防法で定める危険物(第四類アルコール類)に該当するが、</p> <p>①販売業者や施設など、一定数以上の容量を保管するに際しての届け出状況を伺う。</p> <p>②火気はもちろん、直射日光に容器がさらされることでも危険性が高まる。市民に対してどのような注意喚起が行われているか伺う。</p>	
2	<p><u>コロナ禍における学校運営について</u></p> <p>第6波により、身近な範囲、特に生徒児童らの間でも新型コロナウイルス感染症の罹患者が増えたことを実感する。文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課から対応ガイドラインも出ているが、</p> <p>(1) 学級・学年閉鎖、学校臨時休業について</p> <p>①各学校における学級・学年閉鎖、学校臨時休業の判断は誰がどの時点でしているのか伺う。</p> <p>②閉鎖休業を何日にするか、国からの指示も日数が変わってきているが、どのように決められているか伺う。</p>	

	<p>(2) プライバシーの管理について</p> <p>①感染者が発覚した際に、どのような情報をどこまで伝えることとしているか伺う。</p> <p>②罹患した生徒児童に対する偏見等を少なくするため、どのような配慮がされているか伺う。</p> <p>③今後、小中学生のワクチン接種も増え、「打った打たない」が差別等の助長につながらないように学校としても対応が必要と考えるが、市の認識を伺う。</p>	
3	<p><u>市内文化財、伝統行事等の保護・活用について</u></p> <p>コロナ禍により地域の基礎ともいえる伝統行事や民俗芸能等は中止縮小等その存続が危ぶまれている。私も危機感から、関係者らに文化庁の地域文化財総合活用推進事業等を紹介してきたが、</p> <p>(1) 文化財・伝統行事の保護について</p> <p>①市として、これまでに実施してきた文化財に対する保護政策について改めて伺う。</p> <p>②上記と同様に、伝統行事に対する保護政策について伺う。</p> <p>③市単独のみならず、都や国等からの補助金などの情報収集並びに市内関係者への周知等はされているのか、伺う。</p> <p>(2) 文化財・伝統行事の活用について</p> <p>攻撃は最大の防御ではないが、地域の資産として文化財や伝統行事を活用することが重要だが、</p> <p>①新型コロナウイルス感染症対応の一環で国内のIT化が一気に進んだ。文化財や伝統行事の紹介等もよりIT化社会に即し、ネット対応等を推進すべきと考えるが、市の認識を伺う。</p> <p>②どうしても縦割り文化財だと教育等の範囲に収められがちである。学習としてだけでなく観光や商工業、自治会等多岐多角的に取り組むべきと考えるが、市の考えを伺う。</p>	